

## 実施方針

### ■ 新たな交流拠点としての「スポーツを通じた健康複合施設」の創造

・市民の交流と活動の拠点となる新市民体育センターの設計をまとめることは、単なる体育センター建設にとどまらず、彦根市の新しいまちづくりのシナリオを描くことと理解しています。

・新市民体育センターは、「整備基本計画」、「基本方針」や新市民体育センターに係るこれまでのさまざまな議論や検討を真摯に受け止め、この場所ならではの施設整備、外構整備に向けて全力を尽くします。

・時代の変化を想定しながら市民の声を反映し、交流の拠点となる体育センターを計画するとともに、まちとつながる開かれた場所とするために、本業務では、右の4点を特に大切にします。

**彦根市の地域性**  
骨格となる重要事項は、複数案を比較検討し、この場所ならではの計画を選択する

**多角的な視点**  
都市経営的視点・財務的視点などを持って幅広く検討し、彦根市の未来に資する計画とする

**円滑な合意形成**  
関係者がイメージを共有できるように、わかりやすく視覚化した資料提供を行う

**中長期的視野**  
将来変化に対応するため、「ソフト・ハード両面において今、備えるべきこと」を検証し、計画に反映する  
本業務で重視する4つの視点

**市民と共に築いていく未来のまち**

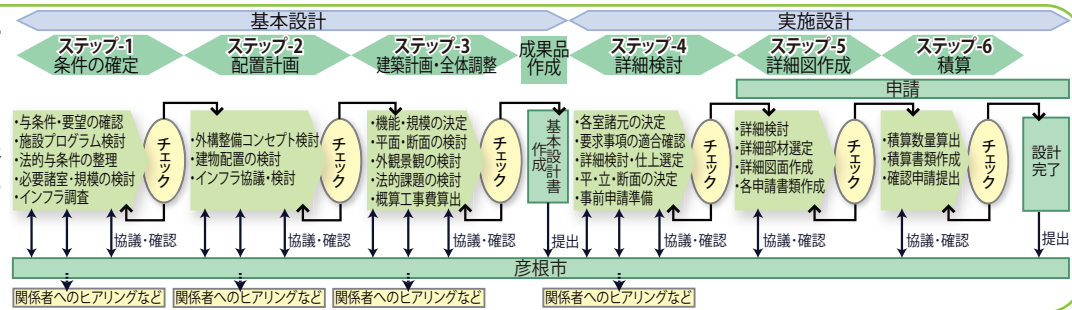
## 設計作業の進め方

### ① 業務の到達点の確認・共有

・設計開始時に設計の**全体工程表**を作成し、設計工程の各段階での到達点、検討・協議事項等を関係者全員で確認・共有し、着実に設計作業を進めます。

### ② 6つのステップによる着実な業務遂行

・設計を大きく**6つのステップ**に分け、各ステップでのスケジュール管理を徹底し、それぞれの最終段階で成果を検証し・業務の実施確認を行ないます。



## 業務への取組体制

### ■ コミュニケーションと提案を重視した業務の推進

・彦根市関係部局、スポーツ関係団体、市民などこのプロジェクトに関わる方々と綿密なコミュニケーションを行い、目的の明確化と価値観の共有を図り、対話と提案を重視した業務の推進を行います。

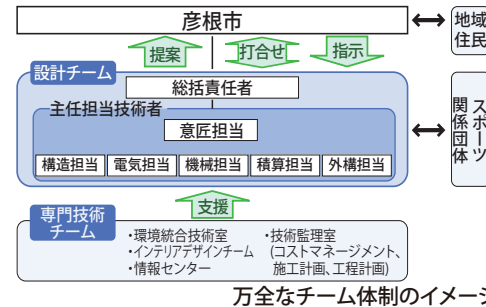
### ■ 的確なコスト管理による工事費の削減

・経験豊富な建築積算士を配置して、基本設計時に精度の高い概算を組み、実施設計時へのフィードバックを行うなどプロセス毎のコスト管理を行います。また、主要材料のコスト比較を実勢に則して要所要所で行うことで、体育館としての十分な機能と品質を確保したうえで、工事費の削減を図ります。

## 設計チームの特徴

### ■ 体育施設の専門家を結集します

・体育施設、大空間の設計に精通した各主任技術者を配置したプロジェクトチームを編成します。  
・工事中の安全計画、コスト削減など施工技術の支援を行う技術監理室、省エネ技術の導入などを支援する環境統合技術室などの専門技術チームとともに設計を推進します。



万全なチーム体制のイメージ

## 特に重視する設計上の配慮事項

### ■ 災害に強い安全・安心な避難施設

・地震、水害などの避難所として、また帰宅困難者の一時受入所として機能するように整備します。  
・避難所として相応しい高い耐震性と床の強度を確保した構造設計とし、大空間の天井など落下の危険性があるものは可能な限り排除した設計とします。  
・電気、水道など各種インフラが途絶えた時も避難施設として機能するように自家発電設備、雨水貯留槽などを整備します。

### ■ 誰もが円滑に利用できるユニバーサルデザインの徹底

・建物内だけでなく敷地全体にわたり、車利用者、歩行者、家族連れからトップレベルの選手まで様々な利用者が利用しやすく、わかりやすいユニバーサルデザインを徹底します。

## その他の業務上の配慮事項等

### ■ 避難施設としての安全性の確保

・地震、火災、風水害に対して避難施設としての機能を継続できるよう万全を配します。特に体育館は構造、設備共に大地震後においても避難施設の機能を継続できる耐震性能を確保します。

### ■ 複数案、代替案の提案によるベストプランの選択

・関係各位の様々な意見を汲み取り、設計プロセスにおいて複数案・代替案を慎重に検討することで、要望を計画に確実に反映します。

### ③ ヒアリングによる早期の情報収集

・業務の開始と共に関係者から**徹底的にヒアリング**を行ない、情報を収集し、共有します。これにより、計画上の課題を早期に抽出します。

### ④ チェックリストの共有による課題、進捗の把握

・計画条件  
・関係法規・条例  
・要望事項  
をそれぞれ**チェックリスト**として整理し共有します。

### ⑤ 「見える」「わかる」化の徹底

・複数案の比較検討、検討過程の提示などによる「見える」化を図るとともに、用語、説明のわかりやすさなど「わかる」化にも配慮し、関係者全員が十分理解しながら協議、検討を進められるようにします。

業務フロー	工程計画	平成29年												平成30年								
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1. 基本設計	建築(意匠)基本設計	基本設計												実施設計								
	建築(構造)基本設計	基本設計												実施設計								
	電気設備基本設計	基本設計												実施設計								
	機械設備基本設計	基本設計												実施設計								
	外構工事(排水計画共・屋外付帯設計)基本設計	基本設計												実施設計								
	工事費概算書作成	概算、検討												実施設計								
	2. 実施設計	建築(意匠)実施設計	実施設計												実施設計							
建築(構造)実施設計	実施設計												実施設計									
電気設備実施設計	実施設計												実施設計									
機械設備実施設計	実施設計												実施設計									
外構工事実施設計	実施設計												実施設計									
積算関係	実施設計												実施設計									
コスト削減に関する検討書	実施設計												実施設計									
メンテナンス計画書	実施設計												実施設計									
3. その他の業務	消防法に係る調査	事前協議												事前協議								
	建築確認申請の審査機関との打合せおよび申請書作成一式	事前協議												事前協議								
	市都市計画課との中高層建築物事前協議に係る打合せ(排水設計を含む)および協議書作成一式	事前協議												事前協議								
	地質調査業務	地盤調査												地盤調査								
環境影響調査(騒音・振動・日照・電波障害・交通量)	調査												調査									



関係団体意見抽出イメージ



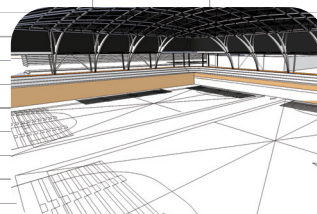
対話型説明イメージ



設計打合せイメージ



模型打合せイメージ



CG検討イメージ

各分野の総合調整を行い整合性のとれた成果品とします(各業務共通)

各分野の総合調整を行い整合性のとれた成果品とします

修正期間を確保し期限を守り確実に納品します(各業務共通)